



第10版

大妻女子大学人間生活文化研究所 「大学院生研究助成(A)(B)」

事務ガイドブック

令和2年7月31日発行

本研究助成は人間生活文化研究所の賛助会員である

13の企業からの寄付金によるものです


前田建設工業株式会社
清水建設株式会社
ダイダン株式会社
株式会社三井住友銀行
株式会社九電工
山崎製パン株式会社
株式会社オンワードホールディングス

三菱地所株式会社
株式会社オカムラ
キューピー株式会社
東京ケータリング株式会社
株式会社内田洋行
SMBC日興証券株式会社

(令和2年7月31日現在)

大妻女子大学人間生活文化研究所
〒102-8357 東京都千代田区三番町12
大妻女子大学千代田キャンパス図書館棟6階

1. 採択後の提出書類について

	書類の名称等	提出期限		提出方法	様式の入手方法
①	口座振込依頼書 (通帳のコピー等を添付)	令和 2 年	8月31日 (月)	<u>記録の残る方法</u> でご郵送ください。(詳細はこの表の下を参照)	人間生活文化研究所電子申請システム(e-grant)よりダウンロードしてください。 【e-grant URL】  https://www.shobix.co.jp/egrant/
②	収支等実施報告書	令和 3 年	3月6日 (土)	電子ファイル(.doc)を、期限内に人間生活文化研究所(egrant@o-ihcs.com)に電子メールで提出してください。	
③	研究実施報告書		3月18日 (木)		

■ 口座振込依頼書（通帳のコピー等も添付）の提出方法 ■

通帳の「表紙」および「表紙裏ページ」（振り込み口座情報が記載されているページの見開き）のコピーも提出してください。その際、以下の点に注意してください。

●ゆうちょ銀行の場合

*他の金融機関から振り込み用の店名・店番・口座番号等が必要です。

表紙裏ページに、それらが印字されていない場合、コピーをとる前に、最寄りのゆうちょ銀行で印字してもらってください。

●通帳不発行（インターネットバンキング等）の場合

*金融機関発行のキャッシュカードのコピー、または、金融機関ホームページのログイン後の画面を印刷したもの（口座名義人のカタカナ表記、金融機関名、支店名、店コード、預金種目、口座番号が確認できるもの）を提出してください。

※必ず、記録の残る郵送方法（簡易書留、レターパック等）にて提出してください。

提出先	〒102-8357 東京都千代田区三番町12 大妻女子大学人間生活文化研究所 事務室 TEL:03-5275-6047
-----	--

2. 助成金の支給と使用について

助成金は、採択金額全額が一括して大妻学院より本人口座に振り込まれます。
なお、原則として研究計画調書に記入したもの以外には使用できません。

必ず年度内に全額を使用してください。

助成金を使用するには、必ず、業者等から領収書の発行を受けてください。
(インターネット上の領収書をダウンロードしたもので結構です。)

領収書は、各自が責任をもって5年間（2025年3月31日まで）は保管してください。

領収書には、宛名、受取人名と印、受け取った日付、内訳（但書）が明記されている必要があります。
宛名は「大妻女子大学」あるいは、各自の個人名宛（フルネーム）にしてください。

【助成金の使途】

費目	内容	品目名の例
設備備品費	単価が10万円以上の物品（ただし、コンピューターソフトは「消耗品」扱い）と、単価が1万円（税込）以上の図書及びDVDやCDなどの視聴覚資産を購入するための経費。	コンピューター
消耗品費	設備備品費以外の物品を購入するための経費。	コンピューターソフト 書籍（1冊が10,000円未満） 文房具 コンピューター周辺機器 実験試薬 実験用動物
旅費	応募者の資料収集、調査、研究打ち合わせ等の旅費。 本研究課題の研究成果を発表するための旅費、学会参加費等（学会参加費は「その他経費」）。	交通費（学割分） 宿泊費（規定額） 学会参加費 博物館等の入館料
人件費 謝金	資料整理、実験補助、専門的知識の提供等の業務に対する謝金。	インタビュー調査協力者への謝金 ※税金に関する手続きは、税務署等に問い合わせの上、各自が責任をもって適切に行ってください。
その他経費	設備備品費、消耗品費、旅費、人件費・謝金以外の当該研究を遂行するための経費。 学会年会費印刷費、複写費、通信費、運搬費等。	業者への委託料 文献複写代（コピー、印刷代） 送料（宅急便、郵便代） コピーカード（学内での印刷代） 学会年会費
<p>本助成の対象外となる経費には以下のようなものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行保険料 ・学会、研究会等の懇親会費 ・学会入会金 ・研修会、講習会等の参加経費 ・指導教員の業務に対する謝金 ・会議等における飲食費 <p style="text-align: right;">※経費執行については、大妻学院のルールに準拠します。</p>		

3. 研究成果の公表

本助成金による研究成果を公表する場合は、本研究所の研究助成を受けたことを必ず表示してください。

論文等の謝辞、付記等にその旨を記載する際に、必ず**課題番号及び課題名を記載**してください。

※採択された課題名を変更することはできません。

記載例)

【和文】本研究は大妻女子大学人間生活文化研究所の研究助成（課題番号「課題名」）を受けたものです。

【英文】This work was supported by Institute of Human Culture Studies, Otsuma Women's University
(Grant Number 課題番号 title).

オンラインジャーナル「人間生活文化研究」への論文投稿も、随時受け付けております。

※投稿無料。査読の有無を問わず、様々な論文種別を用意しております。論文種別は、投稿者が選ぶことができます。

「人間生活文化研究」URL <http://journal.otsuma.ac.jp/>

本助成金に関する問い合わせ先

人間生活文化研究所 千代田キャンパス 図書館棟6階6500室

電話 03-5275-6047（千代田キャンパス内線5650～5652）

E-mail egrant@o-ihcs.com